

# 第1学年 英語科学習指導案

日時 平成27年10月1日(木)

授業者 教諭 村上 満智子

ALT Colin Ptak

学級 1年4組(男子13名・女子15名・計28名)

1 単元名・教材名 Unit 8 *Origami* SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 (開隆堂)

## 2 単元について

### (1) 教材観

本単元では、助動詞 can を用いてできることやできないことをたずねたり、答えたりする表現を正しく身につけ、運用する力をつけることをねらいとしている。小学校の外国語活動で体験的に音声を中心に学んできた can を想起させることから始め、助動詞 can を用いた文の形・意味・用法について、リズムカルに口頭で十分に練習することで、自分ができることや他の人ができることについて自信を持って英語で話したり、できるかどうか本当に知りたいことをたずね合ったりすることができるようにしたい。また、疑問詞 how を用いた文の意味なども理解し、使い方を豊富に例示しながら口頭練習し、英語でたずね合うことができるようにしたい。全体として、小学校外国語活動での音声中心の学習を文字で確認し、正確に読んだり書いたりできることを図りたい。

### (2) 生徒観

小学校外国語活動のおかげで、英語に関して興味・関心が高く、音読練習やインタビュー活動に意欲的に取り組める生徒が多い。その一方で、自信がある質問に対しては積極的に答えようとするのだが、自信がない質問には挙手もしなくなる傾向がある。質問は短く、簡単なものも含めながらより多く問いかけ、生徒が積極的に発言できるよう配慮したい。学力面では個人差が大きく、理解度には差がある。「書く」活動においてそれが表れやすい。アルファベットの文字に対する困難さ、文法の定着が不十分であることから伝えたいことが書けない困難さが課題となっていると考えられる。そこで、ペアや小グループによる活動を取り入れ、お互いに教え合いながら学び合う場を設定し、その中で思考力・判断力を育てながら「書く」活動にも意欲的に取り組ませたい。

### (3) 指導観

生徒たちは1学期に My Project1 で、それまでに学習したいろいろな表現を使いながら趣味や特技、クラブ活動のことなどについてクラスみんなに英語で自己紹介をした。

Unit 5 から Unit 7 にかけては、代名詞や三単現を学習した。本単元では助動詞 can を扱う。三単現を学習した際、動詞に注目させ、動詞の原形についても学習しているので、助動詞 can の学習においても、動詞は原形になることに注意を促したい。

単元のまとめとしては、My Project2 で、家族や友達、歌手やタレント、スポーツ選手など、自分の好きな人について、その人の特徴を捉えた英文を書かせ、クラスみんなの前で発表させたい。

## 3 単元の目標

- (1) 助動詞 can を用いた文の構造を理解する。
- (2) 疑問詞 how を用いた文の構造を理解する。
- (3) グループワークやペアワークにおいて、間違えることを恐れずに話す。
- (4) スピーチや対話の内容を正しく理解する。

#### 4 単元の評価規準と評価計画・指導計画

時	指導計画	評価規準			
		コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
1 . 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助動詞 can を用いた文の構造を理解する。</li> <li>・ activity を通じて、can を用いた文を使えるように練習する。</li> </ul> <p>(本時 1/2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアワークやグループワークにおいて、間違えることを恐れずに話そうとしている。</li> <li>・間違うことを恐れずに積極的に書いている。</li> <li>・辞書を活用して書いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できることやできないことについて、英語で正しくたずねることができる。</li> <li>・語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話されている内容から、話し手の意向を理解することができる。</li> <li>・語句や表現、文法事項などの知識を活用して短い英語の内容を正しく聞き取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助動詞 can を用いた文の構造を理解している。</li> <li>・文字や符号を使い分ける知識を身に付けている。</li> <li>・基本的なイントネーションの違いを理解している。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問詞 how を用いた文の構造を理解する。</li> <li>・ activity を通じて、疑問詞 how を用いた文を使えるように練習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアワークやグループワークにおいて、間違えることを恐れずに話そうとしている。</li> <li>・間違うことを恐れずに積極的に書いている。</li> <li>・辞書を活用して書いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「どのように～しますか」と英語で正しくたずねたり答えたりすることができる。</li> <li>・語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話されている内容から、話し手の意向を理解することができる。</li> <li>・語句や表現、文法事項などの知識を活用して短い英語の内容を正しく聞き取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問詞 how を用いた文の構造を理解している。</li> <li>・文字や符号を使い分ける知識を身に付けている。</li> <li>・基本的なイントネーションの違いを理解している。</li> </ul>
4 . 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対話の内容を読み取る。</li> <li>・スピーチの内容を読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に音読している。</li> <li>・辞書を活用して読んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を正しく読み取ることができる。</li> <li>・意味内容にふさわしく音読することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチや対話の内容を正しく読み取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語句や文、文法に関する知識を身に付けている。</li> <li>・基本的な強勢やイントネーションなどの違いを理解している。</li> </ul>
6	<p>&lt;Speaking3&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Can I~? や、Can you~? を用いた文の構造を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に音読している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸してもらいたい物を、相手に正しく伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語句や表現、文法事項などの知識を活用して短い英語の内容を正しく聞き取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Can I~? や、Can you~? を用いた文の構造を理解している。</li> </ul>

#### 5 本時の指導計画

##### (1) 目標

助動詞 can を用いてできることやできないことをたずねたり答えたりし、書くことができる。

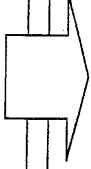
##### (2) 予想されるつまずきと対処法

- ① 「can+動詞の原形」で文が作れない。：例文の提示、グループで教え合える場の設定
- ② 伝えたいことはあるが、英語の表現がわからない。：辞書の活用、例文の提示、机間巡視指導
- ③ どう書いたらよいかわからない。：例文から手がかりを掴ませる。

	学習内容 「主な発問・指示」	生徒の活動(◇) 「予想される生徒の反応」	留意点・評価 (○) UD の視点による手立て (★)
10分 導 入	1 Greeting 英語であいさつをする  2 Warm up ・すらすら英会話  3 学習課題の提示 (Teacher's Talk)  ・学習課題を把握する (Today's Goal)	◇ 英語であいさつ (曜日、天気)  ◇ 英会話をペアで行う。  ◇ ALT と JTE の話を聞く。 ◇ どんなことを話していたか、隣のペアと情報交換する。  ◇ can と can't の使い方を把握する。	★スパイラル化 ○ 会話でつまづいている生徒を支援する。 ★対話の様子を見て、聞き取る。 ( 視覚化1 ) ○ can の後ろは動詞の原形であることに気づかせる。 ★課題設定 ( 焦点化 )
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">           Today's Goal : 助動詞 can を用いて、Colin 先生ができることやできないことについて話したり、書くことができるようになる。         </div>			
35分 展 開	4 基本文の形と意味を確認する。 (Today's Target)  5 Speaking & Writing	◇インタビュー形式による can と can't の基本練習  ◇ 4人グループ (7つの母集団) になり、それぞれが与えられたカードについて、Colin 先生ができるのかどうかを直接たずねる。  ◇ 確認後、もとのグループに戻り、それぞれが得た Colin 先生についての情報を交流し、用紙に記入する。	○黒板に板書したものを復唱させる。 ★ペア活動 ( 共有化1 )  ★グループ活動 ( 共有化2 ) ○対話で使用する語句は、自信を持って使えるように、辞書を活用したり、教師に確認させる。  ○学んだ表現を使って、間違いをおそれずにたずねたり答えたりできるよう、努力が必要な生徒にはヒントを与えながら支援する。 ○辞書を活用させる。
5分 終 末	7 本時のまとめ  8 次時の学習の確認  9 Greeting	◇ Colin 先生が何ができて、何ができないのかを発表する。  ◇ 宿題と次時の学習内容を知る。	★書くことができたなら、発表する。 ( 視覚化2 )

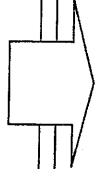
### ◆明確な授業のゴール

グループ活動後のまとめの場面で、Colin 先生のできることやできないことを、伝えたり、書いたりすることができる。



### ◆そのために必要な 押さえておくべき事

- ① 「can+動詞の原形」の文法を理解している。
- ② 語句、英文を正しく発音できる。
- ③ 相手に伝わるように順序よく英文を書ける。



### ◆予想されるつまずき

- ① 「can+動詞の原形」の文法が理解できていない。
- ② 伝えたいことはあるが、英語の表現がわからない。
- ③ どう書いたらよいかわからない。

### ◆つまづきをクリアさせるための 工夫・配慮 (UD)

#### ①②について

#### 【学び合い】

小グループで教え合える場を設定する。

#### 【共有化】

情報交流の場を設定を工夫する。

#### 【視覚化】

Teacher's Talk による課題提示

例文、文法のポイントをわかりやすく提示する。

#### 【スパイラル化】

既習文法事項を繰り返し練習する場を設定する。

#### ③について

#### 【手がかり】

書き出し部分のフォーマットを示すとともに、例文を提示する。辞書を活用させる。

## 本時のUD全体構想図